

総務部門

Q 最近、町内で歩いては暮らしにくいという声が多くなつた。いわゆる交通弱者対策には、高齢者同士での「共助」で取り組んでどうか。

A 町内循環バスの導入については、既存バス路線との競合問題等もあり、現時点では考えていない。提案のあった高齢者同士の共助方式による自家用車の送迎制度については、法の改正によりバス・タクシー業者が事業を行うことが困難な地域に限り、NPO法人等による有償運送の実施が可能となった。しかし、整理すべき諸課題も多いため、今後慎重に検討していきたいと考えている。

(福垣内議員)

Q 交通弱者対策に高齢者同士で「共助」を。

A 整理すべき課題も多く、慎重な検討が必要である。
(平本町長、立花民生部長)



(馬上議員)

Q 住居表示事業の進捗状況について問う。

A 現地調査に着手している。事業推進に当っては、要望等を取り入れながら進めていく。(平本町長)



腕章を付けて、調査を行っています

Q 先日配布された住居表示事業の説明書を見られた自治会の区境の方々が、不安に思っていると聞いている。不安を持たれた方が多くなれば、事業の進捗にも影響が出るものと思われる。出来る限り現在の自治会のまま、事業を進めて頂くよう要望する。

A 5月中旬から中溝・出来庭地区へ現地基礎調査に入り、詳細な街区割案の作成を進めている。また、庁舎内においても部・課を超えたチームを編成し、予想される諸課題等について調査、研究を行っている。自治会境の方をはじめ、出来る限り町民の方の意見や要望を取り入れながら、事業を進めていきたいと考えている。